



市議会だより

# きたあきた



**24** 平成22年8月1日発行

## 6月定例会

- 本定例会の目玉・審議結果 … 2～3
- 常任委員会の審査報告 … 4～5
- 一般質問 … 6～9
- 特集 … 10～11
- 請願・陳情、人事案件 … 12

燃える！  
青春の1ページ

〔撮影：広報公聴特別委員会〕



総務財政

財政調整基金残高  
13億8926万6千円

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案1件、単行議案2件、陳情1件でした。

れも全会一致で原案のとおり可決としました。

市民病院への実証運行  
秋にも継続運行

「北秋田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

平成22年度北秋田市一般会計補正予算（第2号）所管分については、審査の中、地域公共交通再編促進事業補助金について「本城地区から市民病院、中屋敷地区から市民病

院までの実証運行、増沢から市民病院、森吉庁舎から市民病院間の試験運行を行うもの」との説明を受けました。今回の補正財源は、財政調整基金からの繰入れで調整しており、補正後の財政調査基金残高が13億8926万6千円になるとのことでした。以上の審査を経まして、全会一致で原案のとおり可決としました。

ついては、全会一致で原案のとおり可決としました。「安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書」については、全会一致で採択すべきものとし、意見書を提出することとしました。（委員長 黒澤芳彦）



市民病院へ実証運行中

教育民生

4校統合にともなう  
合川高等学校条例等の廃止

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案2件、単行議案1件でした。

で全会一致で原案のとおり可決としました。

北秋田市合川高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定については、新しい施行にともない既定の整備を行うもので文言がわかりにくい理解しにくいとの質問がでました。県の条例に対応し上程しているとの当局答弁

合川高等学校条例等を廃止する条例の制定については、高校4校統合にともなう関係条例の廃止をするもので、原案のとおり可決としました。平成22年度北秋田市一般会計補正予算については、教育費の中で、まどび学園の今後の運営について話し合われま

した。応募者がいない今後、廃止を含め検討しているとの当局説明がありました。伊勢堂岱遺跡 世界遺産登録に向けて 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けた新しい動きについては、4道県で7月以降の会議で今年の取り組みが決定される見通しであり、胡桃館遺跡は、まだ国指定になっていないので、文化庁から調査検討委員会を設置して国指定の対応をするように指導されているとのことでした。

消防費については、「職員の充足率の件、また、火災だけでなく医療的な側面、勤務体制、健康管理等、現体制で良いのか」の質問に対して「充足率は76%、分署で人員不足になった場合、本署からの補充、指導命令系統をしっかりとさせるため副所長2名体制をとっている。現在ある機械、人で任務を遂行したい等の答弁がありました。市民生活部関連では、クリーン・リサイクルセンターの補修、修繕が毎年かかっている現状に何か対策を考えているのか」



国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」

健康福祉

子宮頸がんワクチンは  
来年度実施へ

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案4件でした。

22年度一般会計補正の主なものは、4月の人事異動に伴う人件費でしたが、審査の中で、子宮頸がん予防ワクチンは、中学1年生を対象に集団接種方式で、来年度の実施を検討しているとの考えが示されました。公立認可保育園

（7園）の非常勤職員の報酬改定分の計上、また、0歳〜1歳児の入園希望者が増加傾向にあるが、保育士の応募者が無いという説明に委員から待遇改善や正職員との報酬格差の是正を求める意見が出されました。そのことについては課題解決へと取り組んでいくとの答弁を受けました。

市民病院へ案内板設置 市民病院への案内板設置については、設置場所の資料で説明を受け、基本的には国道県道を経由して北秋田市に入り、市民病院へ。高さ3m、幅60cm、10ヶ所の説明に、デザイン、絵、色などの提案が出ました。国県との協議事項もあるが要望するとの答弁でした。条例案は生活管理派遣事業に「たかのす福祉公社」が追加された条例改正でした。お

おむね60歳以上の要介護認定非該当者（自立）で、基本的習慣等の支援が必要な人が利用できません。週1回、1時間（300円）が原則。各委員より具体的な事業内容や現状などについて質疑がありました。決定方法については高齢者福祉担当課職員6名で審査。市の負担金利用料金は実施要綱に基づき1時間3000円を事業者に支払うもの。利用者は現在5名、申請の大方はケアマネージャーからの情報が多く、市民へは広報等で啓発している。高齢者、身体障



子宮頸がんは予防が可能な病気（写真はワクチン接種のイメージ）

害、知的障害の方たちが利用され福祉課と高齢福祉課が連携して行っている。在宅介護を基本にケアの部分をサポート、今後利用が増える可能性がある。他3件も全会一致で原案のとおり可決としました。（委員長 中嶋洋子）

産業建設

市営放牧場の預託料改正

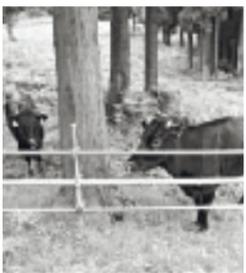
当委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案5件、単行議案3件でした。

北秋田市林産物加工品等展示販売施設条例を廃止する条例の制定については、築26年以上経過し、耐用年数も過ぎていることから廃止するものでした。北秋田市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正す

る条例の制定については、森吉と合川簡易水道2事業を一本化し、22年3月に県の認可を受け改正するもので、各条例とも全会一致で原案のとおり可決としました。北秋田市営牧場の一部を改正する条例の制定については、放牧組合との意見統一ができたことから提案されたもので、預託料は肉用牛成牛1日1頭

当たり150円、子牛50円で、近隣の市（210円〜250円）に比較し安い、との反対意見がありました。今回は鷹巣・高津森両牧場の預託料を統一するためのものとの答弁があり、賛成多数で原案のとおり可決としました。一般会計補正予算の今こそ チャレンジ農業プラン応援事業は、事業変更による増額274万4000円。水田フル活用型生産体制緊急整備事業は、新規需要米対応事業で817万4000円。国の所管「ふるさと融資」

活用の7500万円は、阿仁萱草工業団地の秋田工業(株)が阿仁第2工場を建設するため融資するもので、従業員20人、21年12月末現在で売上げ3億1100万円。今回の雇用は10人程度との説明がありました。住宅リフォームは 市内業者へ 住宅リフォーム補助金2124万円は、118戸で一戸18万円で算出。工事費50万円以上で、20万円の上限で10%補助。県と併用することも可



預託料を統一する市営放牧場

（委員長 松尾秀一）

# 一般質問

活かそう市民の声 市政を問う

一般質問は、6月17日・18日に行われ、7名の議員が市長に対して、療養病床、小学校統合問題、教育再正、市民病院、地域経済活性化対策、子宮頸がんワクチン等様々な問題についてたどりました。

\*掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。



## 療養病床の位置づけは医療圏に必要と認識



黒澤 芳彦 議員  
(政友会)

**問** 北秋田市医療構想の見直しと将来構想における市としての基本的考え方と療養病床の位置づけについて。  
**答** 将来を見据えた現実可能な医療構想の見直しを行うこととし、基本的な考え方としては、良質な医療の提供、そして現有医療提供機能の有効活用、医療連携の強化、さらに医療と介護、福祉の連携による在宅医療の強化である。また、この医療圏には療養病床は必要であると認識している。

**問** 受動喫煙防止対策について。  
**答** 公共施設においては、周知期間を置きながら、来年度以降、全面禁煙できるよう取り組んでいく。  
**問** 自殺予防対策について。  
**答** 当市の自殺率は10万人当たり45・7人と高い数値である。さまざまな分野の組織と問題を共有しながら、自殺防止ネットワーク会議を開催し、民間団体、独自事業への支援を行う。

## 循環バスの運行は

### 他町村を参考に検討

**問** 100円とか200円で廻る循環バスの運行は考えられないか。  
**答** 循環バスは主要な目的地である医療機関や商業施設、公共的施設を結ぶ大変利便性の高い手段であるが、既存路線との兼ね合いもある。他の市町村の事例も参照しながら、その可能性を検討する。

**問** 阿仁前田基幹集落センターの設置はできないか。  
**答** 現状では新しい施設の建設は難しい。  
**問** 米内沢小学校の放課後児童クラブについて。  
**答** 校舎建築に伴い、校舎外に設置したい。

## 南・西小学校統合問題



三浦 一英 議員  
(みどりの風)

**問** 合川南小学校・西小学校との部分統合問題について、南地域の保護者住民のアンケートをとった結果、27年度からの合川地区一斉統合が全体の63%となったにもかかわらず単に教育方針のみで早急に23年度から部分統合なのか。地域住民の声に耳を傾けるべきではないのか。また、廃校となる校舎の活用は考えているのか。  
**答** 子供たちは市の将来を担う宝であります。すべての子供たちに平等に最良の教育環境を提供することが市の責務と考えております。保護者や地域の方々の納得をいただき今回のアンケート結果等を真摯に受け止めて統合時期については検討させていただきます。校舎の活用は地域との話し合いの中で希望を伺ってまいります。

**問** 米は特A米の評価を得ており広域カントリーエレベータを利用した白米販売の販路拡大に期待しています。また特産品につきましても東京での北秋田フェアを開催し、私自身が先頭に特産品の販売対策を行ってまいります。  
**答** 米は特A米の評価を得ており広域カントリーエレベータを利用した白米販売の販路拡大に期待しています。また特産品につきましても東京での北秋田フェアを開催し、私自身が先頭に特産品の販売対策を行ってまいります。

## 教育再生への道筋を



藤 文信 議員  
(新創会)

**問** H18年12月の教育基本法の改正にともない、振興計画は努力義務となりましたが教育再生への道筋を明確にする上で、教育振興計画を策定することは大切であります。策定への考えはどうか。  
**答** 今後10年間を通じて目指すべき教育の姿を明らかにすることが求められています。基本的な計画は必要であり、市としても国、県の方針、指針、指導を受けながら策定に向けて取り組んでいきます。

**問** 改正過疎法の特徴は第12条において、ソフト事業への対象が拡大されたことが注目されます。財政基盤の弱い当市では有利な制度の1つであり、過疎計画を策定することが重要であると思いますが、策定についての考えは。  
**答** 地方分権改革推進の観点から過疎地域自立促進のため、地域医療の確保、住民に身近な生活交通の確保等を図るソフト事業を含め

## 農業問題と振興策

### 特産品の販路拡大

**問** 北秋田市の畜産農家の口でい疫やその他の感染症対策は万全か。  
**答** 家畜保健所、JAと協議しながら対策を進めており、本定例会でも消毒剤の予算計上をしております。

**問** 農業後継者対策と都会との農村交流について。  
**答** 農業試験場で研修生を2年間受け入れる制度があり、当市からも1名研修中です。都市交流については田植え体験や修学旅行団が

**問** 北秋田市の各種イベントへの市職員の参加協力について。  
**答** 市職員は公僕として、イベントスタッフであるかを問わず、一層の参加協力体制を整えてまいります。

**問** 昨年12月に子宮頸がん予防ワクチンの接種が国内で認可されました。がんをワクチンで予防できるのは画期的な方法であります。任意接種のため、個人負担

**問** 公共施設においては、周知期間を置きながら、来年度以降、全面禁煙できるよう取り組んでいく。  
**問** 自殺予防対策について。  
**答** 当市の自殺率は10万人当たり45・7人と高い数値である。さまざまな分野の組織と問題を共有しながら、自殺防止ネットワーク会議を開催し、民間団体、独自事業への支援を行う。

## 過疎計画策定は

### 9月議会へ提案

自立促進に向けて実効性のある計画を9月議会に提案できるよう計画の策定作業を進めています。  
**問** 地域産材の活用による地域活性化につなげる考えは。  
**答** 秋田スギネットワークたかのすより、秋田杉を使用した場合は一定基準により補助金を交付する制度の新設への要望書をいただいております。

## 市民病院は利用しにくい

### 指摘された点を検討



福岡 由巳 議員  
(共産党議員団)

検討する上で地域医療再生計画を取り入れながら策定することになる。

**問** プロジェクトチームによる医師確保などを提案してきたが、なぜ、市民全体の運動にできないか。

**答** 医師確保については各機関に対して協力要請を行い、市民からの情報は関係資料などとして提供し取り組んでいる。

**問** 充実させていくことが、私の責任。

**答** 施政方針で「将来を見通した現実的で実現可能な医療構想を策定する」とあるが、市長のこれまでの主張以外の課題は何か。

**問** 市民病院の指定管理料軽減のためには何としても医師確保が必要であると考へ就任以来努力してきた。

**答** 地域医療再生計画（北秋田二次医療圏）で問題は解決できるか。

**問** 市で新たな医療構想を

行や高齢者の割引制度化をすべきと考へるが。

**答** 市独自の無料巡回バスについては、他の交通機関を利用される方との公平性や既存路線との兼ね合いを考へながら検討する。割引制度化についてはどういった割引が可能か検討する。

**問** 病院から近くの薬局までの諸問題を早急に解決すべきと考へるが。

**答** 医療分業等の規制があるが、できるだけ早急に有効な手法についての可能性を探りたい。

**問** 患者から職員への苦情が多い。改善すべきである。

**答** 市と厚生連とで連絡を密にして、市民の声、患者さんの声を病院運営に反映してまいりたい。

## 国保税の引き下げを

### 財源的に余裕がない

**問** 平成20年度決算では国保財政調整基金が約4億円、繰越も4億円、国保税を市民の生活事情から一世帯1万円引き下げるべきである。6千万円でできる。

**答** 財源的に余裕がない。

**問** 合川地区の申告相談はなぜ2会場になったのか。

**答** 少しでも軽減できるよう努めているところ。

## 地域経済活性化対策は

### 地元企業支援予算計上



小笠原 寿 議員  
(きら)

**問** 市独自の不況、地域経済活性化対策の取り組みは、

**答** 新規誘致だけでなく、地元企業にも重点を置き、緊急雇用事業など関連予算を提案している。

**問** 「秋田杉の需要拡大事業」のような助成事業は、

**答** 地元秋田杉の利用拡大は林業振興にも資するものと理解しており、他市の事例などを参考にしながら検討を行いたい。

**問** 幅広い分野での地元業者優先型の入札制度導入は、

**答** 市内業者への発注及び育成について可能な限りの配慮を今後も進めていく。

**問** 秋田大学との連携成果規模は、

**答** 秋田大学のみならず、

ア強化育成の取り組みは。

**答** 環境を整えていくことが重要と考へており、県でもジュニア育成を図る取り組みを行っているので、連携していきたい。

**問** 市内の野球場が老朽化し、他市と比べて見劣りするが、硬式野球場の建設計画はないか。

**答** 鷹巣中央公園球場は硬式野球ができない状況となっており、合川、米内沢の球場も老朽化しているが、厳しい財政状況の基、期待に応えるまで至っていない。

## 北秋中央病院跡地は

### 秋頃までにはたたき台を

**問** 北秋中央病院跡地の利用の計画は。また計画の場合は購入、譲渡、賃貸か。

**答** 現在、市庁内に研究組織を設置し、利活用について検討中。土地については不動産鑑定士による鑑定評価を行い、その価格で厚生連から購入することになる。

**問** 産学官民一体の組織の立ち上げの考へは、

**答** 広く市民の意見を聞くためにも可能性を検討した

## 乗りかえなしで病院へ

### 範囲が広く困難



長崎 克彦 議員  
(清和会)

**問** 市民病院を最大限利活用するため、乗りかえなしで、また、集落毎の循環バス等の運行を。

**答** 料金の軽減（打当から内陸線・バス利用で、2千円余になる）、対策を。米内沢駅前からバスの乗降ができるように。

**問** 22年度経営（決算）の見込みについては、

**答** 休止病棟の施設としての利活用の考へ方は。薬剤の病院で処方できる対策を考へるべきと思うがどうか。

**問** 市内は大変広い地域なので、乗りかえなしでは困難、循環バスは他市の例を参考にしながら考へてみたい。米内沢バス停まで遠いので、駅前から乗降でき

るように、バス会社と協議している。

一日当りの外来は539人、入院は152人で順調に推移している。

休止病床については、他市でも病院内に老健施設等組みいれている所もあるので、検討委員会の答申をう

## 合川高の利活用は

### 統合小について協議する

**問** 合川高校についての利活用の考へは、

**答** 校舎は耐震化工事が必要なため、用地のみについて考へている。統合小の建設場所として住民と協議し検討してみたいと思っ

**問** 中央病院跡地利用については、市日の開催、一部駐車場、高齢者住宅等考えられるが、中心市街地であり、関係機関と協議の上決定すべきと思うがどうか。

けてから考へてみたい。薬剤の院内処方については、厚生連と協議中であり、利用者の立場で検討したい。

**問** 基幹産業としての農業振興の取り組みの中で、耕作放棄地対策、米の戸別所得補償モデル事業の取り組み状況は、

**答** 耕作放棄地は7ha程、放棄地対策協議会の方針をうけ、補助事業をとり入れ解消に努めている。モデル事業は水田協議会でとりまとめている。

**答** 市の将来像、商店街の活性化を含め、活用方法を検討していく。

**問** 除雪の際、商店街、住宅の入口の雪も流雪溝で排雪してはどうか。

**答** 流雪溝設置による除排雪の要望があったが、設置費用等解決すべき課題が多く、具体的計画策定までは至っていない。地域事情に配慮しながら現状から少しでも改善できるような方策を考へる。

## 質問

## 回答

## 女性特有がんの予防対策は

### ワクチン助成も含め検討



武田 浩人 議員  
(無党派)

**問** 市民病院への交通アクセスですが、乗り継ぎバス等の、待ち時間の長さ、停留所の状態の悪さなど、様々な課題についての、現状認識と対応策を伺います。

**答** 乗り継ぎの待ち時間は今後秋北バスや、秋田内陸線と連携し解消に努めます。停留所の状態は用地・施設については、バス事業者・地元自治会等との、協議が

**問** 介護保険の受領委任払いの採用について伺います。介護保険の被保険者が、福祉用具の購入、段差解消等の住宅改修を行う際に、介

必要ですので、現状確認し解決へ向け努力します。

**問** 女性特有がんの予防についてですが、子宮頸がん乳がん無料クーポン券事業の来年度以降の継続と、子宮頸がん予防ワクチン費用助成のお考へはありますか。

**答** 無料クーポン券事業は国の動向を考慮し検討して行きます。子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成については、必要であると考へております。なお、検診受診率を高めて行くことも重要と考へますので、ワクチン接種と並行した政策転換が必要だと考へます。

## 受領委任払いについて

### 早期導入へ検討中

護給付を受けることが出来ます。その際費用は全額業者へ支払った後の、償還払い方式が基本ですが、一時的な負担の少ない受領委任

払い方式を採用するお考へはありますか。

**答** 県内の自治体でも広がってきていますので、当市も検討段階に入っております。今後、制度導入のための要綱の改正や、施工業者を登録制にする必要があるなど課題も残されていますが、早期に実施できるよう条件整備に努めていきます。

**問** 住宅用火災警報器設置については、平成23年6月から全ての住宅に義務付けられますが、今後の普及促進について伺います。

**答** 平成20年4月より、自治会等に補助金を支給し共同購入による設置推進を図ってまいりました。本年4月末で131自治会等から4120世帯の申請がありました。まだ申請をされていない自治会等には、本年2月4日付けで再度文書でお願いをしております。今後は、広報活動なども更に充実させ、全職員体制で啓蒙活動に取り組み、設置率の向上に努めてまいります。

# きたあきたしの財政について ～一般会計編～

- ・市民のみなさんから、もう少しくわしくおしえて！ との声をもとに作成しました。
- ・広報きたあきた 4月号を参照しながらご活用ください。

## Q1 金額が大きくて、どのくらい使われるのかよくわからないのですが？

☆ 一般会計の予算を、市民1人あたりで計算してみました。

<b>福祉・子育ての充実に</b> 約15万6千円 うち市債の返済 2万円	<b>農林振興の充実に</b> 約3万円 うち市債の返済 2万3千円	<b>環境・衛生の向上に</b> 約6万6千円 うち市債の返済 4千円
<b>道路などまちづくりに</b> 約6万7千円 うち市債の返済 2万円	<b>市役所などの運営に</b> 約7万4千円 うち市債の返済 2万3千円	<b>教育の充実に</b> 約6万6千円 うち市債の返済 1万円
<b>消防・救急体制に</b> 2万5千円 うち市債の返済 約1千円	<b>産業振興などに</b> 3万4千円 うち市債の返済 6千円	一般会計当初予算は 194億3254万6千円、 平成22年3月末日の 人口(37,510人)で 割っています。

全体で、約51万8千円の市民サービスを行っています。  
 なお、市民1人あたりの市税負担は約7万4千円になります。

## Q2 使い道をわかりやすくするため、家計簿に置き換えるとどうなるの？

☆ 市の歳入、歳出は、家庭における収入・支出とは全く異なるものですが、あえて年収300万円の家庭に圧縮して家計簿を作成してみました。市の予算を理解する参考にしてください。(4人家族)



○歳入

家計簿	予算の種類	金額
給料	市税	43万円
親からの支援	地方交付税など国・県からの収入	210万円
パート収入	負担金、使用料、財産収入	10万円
貯金の取崩し	繰入金	0.5万円
ローンの借入	市債	27万円
その他の収入	繰越金、諸収入	9.5万円
合計		300万円

○歳出

家計簿	予算の種類	金額
食費	人件費	66万円
ローンの返済	公債費	46万円
医療費や保険料	扶助費	37万円
家の増改築費	普通建設事業費	16万円
光熱水費や衣料費など生活費	物件費	56万円
子どもの学費や地区費	補助費等	31万円
子どもへの仕送りや友人への貸付	貸付金・繰出金	46万円
貯金	積立金	0万円
その他	維持修繕費など	2万円
合計		300万円

○貯金と借金

1人あたりの貯金	12.5万円
1人あたりの借金	68.7万円

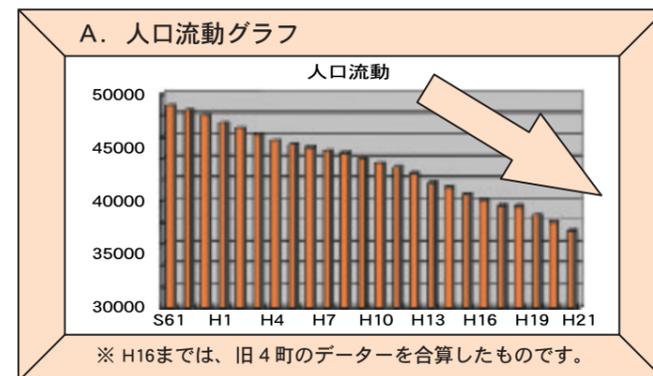
貯金と借金は平成21年度末見込み額を人口で割っています。

次回の特集は  
**特別会計編**

# 北秋田市の現状!! 特集

## グラフで見るきたあきたし ～人口動態編～

北秋田市の人口は、年々減り続けています。Aグラフを見てもわかるように、昭和61年度からの24年間だけ見ても1万人以上減少しております。グラフではわかりにくいのですが、年間約500人づつ減っており、今後もさらに人口の減少が危ぶまれます。



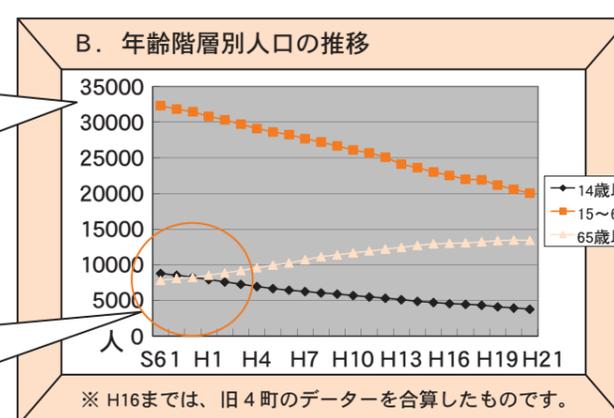
※S61～H21までの国勢調査確定値をもとにした秋田県年齢別人口流動調査より

右肩下がり減り続ける人口。自然減・社会減と減り方はいろいろありますが、経済の低迷により雇用機会が少ないという問題や女性の社会進出など社会構造的な要因が幾重にも重なり、人口減少という深刻な事態になっております。今後、労働力がなくなる、税収が減るなどさらに問題は拡大すると思われます。「人口減少」、「少子高齢化」の問題はみんなで考えていかなければなりません。



- 主なできごと
- 昭和61年 秋田内陸縦貫鉄道開業
  - 平成3年 台風19号直撃
  - 平成10年 大館能代空港が開港  
日本ジャンボリー開催
  - 平成17年 旧4町合併し北秋田市に
  - 平成19年 豪雨災害  
秋田わか杉国体
  - 平成20年 全国植樹祭

15歳～64歳までの生産年齢人口は、この20年間で1万人以上減少しております。



平成3年、65歳以上の人口が14歳以下の人口を逆転して以来、少子高齢化はどんどん進んでいるのがわかります。

では、この先どう変化していくのでしょうか。全体の人口は減少傾向が続きますが、平成26年まで65歳以上の老年人口が増え、その後減少に向かいます。

高齢化率  
H21年度 35.7%  
H41年度 50.8%  
と予想。



C. 今後の予想 (Future Projections)

項目	年次	単位: 上段: 人, 下段: %				
		平成21年 2009年	平成26年 2014年	平成31年 2019年	平成36年 2024年	平成41年 2029年
人口		37,452	33,309	28,748	24,303	20,354
年少人口 (14歳以下)		3,667	2,739	2,044	1,531	1,225
生産年齢人口 (15歳～64歳)		20,419	17,144	13,630	11,045	8,784
老年人口 (65歳以上)		13,366	13,426	13,075	11,728	10,345
	65歳～74歳	5,885	5,515	5,770	5,049	3,953
	75歳以上	7,481	7,991	7,305	6,679	6,392

※平成16年・平成21年現在の住民基本台帳人口をもとにセンサス変化率を用い算出

## 人事案件

本定例会に5件の人事同意案件、および秋田県後期高齢者医療広域連合会議議員の選出について無記名投票により行われ、その結果は次のとおりです。

◎北秋田市米内沢財産区  
管理委員  
松田 光朗 氏(米内沢)  
賛成 8票  
反対 16票

◎北秋田市阿仁財産区  
管理委員

湊 邦造 氏(阿仁水無)  
賛成 21票  
反対 4票

◎北秋田市大阿仁財産区  
管理委員

金田 司 氏(根田)  
賛成 5票  
反対 19票

泉 一雄 氏(阿仁中村)  
賛成 25票  
反対 0票

◎人権擁護委員候補者

石崎 幾子 氏(小又)  
賛成 24票  
反対 1票

◎秋田県後期高齢者医療  
広域連合会議議員

投票総数 26票  
佐藤吉次郎 氏 18票  
板垣 淳 氏 8票

## 広報公聴特別委員会 所管事務調査報告

市民の皆様は、議会についてわかりやすく伝える重要な役割を担っている議会だよりですが、より良い議会だよりにするべく、5月後半に宮城県多賀城市へ所管調査に行ってきました。

多賀城市の議会だよりは、当市には無い「おっ」と目をひくような記事があったり、細かいところにまで編集委員の思いが詰まった議会報になっており、編集の流れや委員の意識について直接聞きたいということ、選定しました。

追跡調査(一般質問等で取り上げた問題で、市長の答弁がその後どうなったのか対応を調査)や、予算を一般家庭の家計簿に例えて表示するなど、市民の皆様は、さっそく参考にする方法は、さっそく新しいことに挑戦して参ります。

市民の皆さまと議会をつなぐ重要な紙面として、今回の視察を十分に生かし、これからもより一層努力して議会だより作成に取り組んで参ります。

(委員長 佐藤光子)

### 多賀城市について

人口 63,688人  
(推計人口、  
2010年6月1日)  
面積 19.64km<sup>2</sup>

仙台市のベットタウン。  
北秋田市の約1/60  
の面積ですが、人口  
が約2倍!!



多賀城市議場にて

## みなさんからの請願・陳情と意見書提出

件名	陳情者氏名	結果	意見書
安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書	国土交通省管理職ユニオン東北支部執行委員長 堀井 寿	採 択	提 出
予防ワクチン接種に公費助成を求める意見書(議員発議)			提 出

## 次の定例会は 9月です。

### 定例会や委員会を 傍聴してみませんか

会場は左記のとおりです。

◎本会議 本庁舎議事堂

◎委員会

総務財政常任委員会 本庁舎  
教育民生常任委員会 阿仁庁舎  
健康福祉常任委員会 合川庁舎  
産業建設常任委員会 森吉庁舎

## あとがき

見た目の「変化」と内容の「進化」を目指し、迎えたりリニューアル後の2号目ですが、いかがだったでしょうか。

主観を入れずに、忠実にわかりやすく作るのがこんなにも難しいとは・・・新しい企画ページも入れて、より市議会を身近に感じていただけたらうれしく思います。

また、前号発行後、市民の方から励ましのお便りをいただきました。今後、市民参加型の特集も企画しております。皆様のご意見をお寄せください。

参院選も終わり、国政においても激動の時代を迎えようとしております。当市も課題が山積しております。現在北秋田市が抱えている問題に触れ、市政に参画してほしいと思います。

では、次号もお楽しみに!

(広報公聴特別委員会

大森光信)